



# 大門



市民交流センター（4月24日）

**問** 3月議会で、修正や反対がなく全ての議案が全員一致で通った。議会制民主主義が機能しているのか。**答** 議案は常任委員会で審議され、過去に意見が割れたこともある。今回、常勤監査委員の条例が継続審査となったが、条例案件の継続審査は40年ぶりのこと。塩尻市議会は他市と比べて議論がされている方だと思ふ。

**問** 「熟議」を重ね、白熱した議論のできる議会にしてほしい。請願や陳情を「処理」するというのが、これは市民に対して失礼な言葉づかいではないか。また、「検討します」「研究する」という答弁の後どうなったのかフォローしてほしい。行政に対する監視機能をもっと発揮してもらいたい。**問** 選挙の投票時間を夜8時まで延長している割に投票率が低落傾向である。投票時間の見直しをすべきと思ふ。

**答** 夜8時までが浸透している中で、費用と効果の妥協点は今後よく見極めたい。**問** 平成24年度一般会計予算は252億円と前年から8億円の縮小予算なのに、経常経費は32億から38億円に増えている。一方、投資的経費は前年の40億円から19億円に減っているのはなぜか。**答** 24年度予算全体では大型の公共事業がなくなることが主な原因で減少となったが、扶助費は1億円増、国保会計への繰入は6億円と増加しており、来年度以降増加していくと思ふ。経常経費については総枠を5%カットするなど経費の節減に取り組んでいる。**問** 政務調査費については視察だけでなく、目的や塩尻市政にどう反映されたのかなど、より具体的な報告書で市民に知らせる工夫をしてほしい。市のホームページに公開するならそんなにお金もかけずにできるのではないか。**答** 議会基本条例推進委員会などで研究し実現していく。

# 榑川

**問** 鳥獣被害が多く、榑川地区ではサルが特に多い。抜本的な対策はないか。農地ばかりでなく、家まで来るので大声で追い払う状況であり、家族の安全なども心配である。**答** 新たに人を増やし、対策を取っているが、温暖化で数も増加している。予算も600万円増額して対応している。議員も重要課題ととらえ研修をし、対策を研究している。

**問** 榑川地区官行造林の一部は地元へ返してもらったが、残り100ヘクタールは平成26〜28年頃に返していくとのことだが地元だけでは管理が難しい作業道もなく、今は価値が低い唐松がほとんどである。今後国からは買い取るようにと言われているが、地元の負担ができるだけ少なくなるよう市議会で検討し国へ対応して欲しい。**答** 地区で意見をまとめて行政・市議会へ意見を上げて欲しい。市議会としても研究していきたい。**問** ならい荘の公募の見直しについてはどうなっているのか。建物、特にトイレなど水回りが旧式で観光客も集まりにくい。改



榑川支所（4月24日）

修してからでないかと公募は無理ではないかと思ふがどうか。**答** 5月に民間からの応募があれば6月議会に提案される予定だが、現段階でははっきりしていない。**問** 地域が活性化するために支所に予算を付けて、地域住民が利用しやすいようにしてほしい。**答** 議会としても行政に対応を求めているが予算の使い方が課題となっている。今後さらに行政と検討していきたい。

**問** 医療費の伸びが高いが心配である。原因を調べて欲しい。**答** 議員も心配している。今後の対策のためにも、しっかり対応していきたい。重要な課題なので市民にも情報をしっかりお伝えしたい。